

with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

金城学院報

2022.
07
vol. 39

2022年4月、
金城学院大学看護学部、始動。
大学院薬学研究科も開設。

健康だけじゃない。
その人らしさまでを支えられる
看護職者へ。

2022年4月1日、金城学院大学に「看護学部」が誕生。108名の新入生を迎えて看護学の教育・研究がスタートしました。看護学部が育てるのは「健康だけじゃない。その人らしさまでを支えられる看護職者」。最新の施設・設備と充実したカリキュラムで、これからの時代を担う看護職者を育成します。

総合大学の強みを生かし 社会の要請に応える看護職者を育てたい。

2022年春、金城学院大学6番目の学部となる看護学部が始動し、第1期生108名が新たな一歩を踏み出しました。メンバーと議論を重ねながら看護学部の設置構想の策定に携わって3年。真新しい校舎に学生たちが集い、生き生きと学ぶ姿を見たときは、無機質だった建物に生命の息吹が宿ったような気がしました。

少子高齢化の進行、慢性疾患を抱えながら地域社会で生活する人々の増加、老々介護の増加など、日本の保健・医療・福祉を取り巻く環境は多様化・複雑化し、看護職者の役割や活躍の場は大きく広がっています。社会のグローバル化に伴い、看護にもますますグローバルな視点での対応が求められています。こうした多様な看護ニーズに応えるため、本学部は充実したシミュレーション教育と手厚い教育サポートを通じて看護実践力を強化。確かな知識と技術、国際的視野を備えた看護職者の養成をめざします。

いうまでもなく、本学は福音主義キリスト教の精神

に基づいた教育と研究を行う総合大学です。本学での4年間の学びを通して、学生は看護職者にとって一番大切な「他者をいたわり思いやる優しさ」と「豊かな人間性」を自ずと育むことができます。また、他学部の学生や教員との交流を通して、看護に偏ることのない幅広い知識・教養を得ることができます。特に本学は英語教育に定評があり、グローバル社会に対応する英語力を身につけることができるのも大きな魅力です。他学部のスペシャリスト(薬剤師・管理栄養士・社会福祉士など)から多職種連携やチーム医療を実践的に学ぶことも、総合大学ならではの強みです。

まだスタートしたばかりの看護学部ですが、130余年におよぶ本学の歴史と伝統、恵まれた教育環境を存分に生かし、教職員が一体となって豊かな学びの場をつくり上げること。何より「金城学院大学で学び、看護職者をめざしたい」という学生たちの志に全力で応えたいと思っています。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



金城学院大学 看護学部
看護学部長

市川 誠一

ICHIKAWA Seiichi



本学看護学科のカリキュラムの大きな特長は、看護の実践能力を育てるための演習を重視し、入学したすぐの4月から実施していること。事前学習や講義で必要な知識を学んだ後、技術演習を行うことで、「看護の心」と「知識・技術」をしっかり身につけていきます。



この日は「入院中の患者さんをベッドから車いすに移乗し、外来フロアにある検査室まで移動する」という設定で演習を行いました。

「理論」と「実践」をくりかえし、豊かな人間性と看護実践力を養います。

基礎看護生活援助技術演習

ベッドメイキングやシーツ交換、車いすやストレッチャーを用いた移乗・移送、食事の援助技術など、生活援助に必要な援助技術の基礎を身につけます。



学生が患者役と看護師役、両方を体験することで、安全・安楽な移乗・移送技術を学ぶと同時に、援助の受け手の気持ちも理解することができます。



ストレッチャーへの移乗・移送では、「自力で動くことが困難な患者さんをベッドからストレッチャーに移し、検査室まで移動し、再びベッドへ戻す」という演習を行いました。



狭い通路やコーナーを回る時の扱いや、廊下で移送する時のスピードなど、先生から指示を受けながら移送を行います。

看護

コミュニケーション論

講義とロールプレイなどの実践形式を織り交ぜながら、看護におけるコミュニケーションの意義を理解し、コミュニケーションスキルを段階的に修得。学生同士で、時には模擬患者さんを相手に実践しながらのロールプレイ演習を行うことで、コミュニケーションスキルの向上を目指します。



この日は、8月に実施される病院実習に向けて、患者さんとのコミュニケーションスキルを養うという授業で、最初に看護面接の悪い例、良い例をビデオで視聴。その後グループに分かれてディスカッションを行い、それぞれの良い点、悪い点、改善点などを分析し、発表することで、理解を深めました。



「学生同士による看護面接演習」の風景。6名1グループでのロールプレイで、患者役1名、看護師役1名、進行係1名、観察者3名が交代して、全員がそれぞれの役割を体験します。

看護学部 3つの強み

1 看護の専門知識と実践力を育成

医療の進展・高度化、保健・医療・福祉現場の変化に対応できるよう、最新の設備と充実した教育プログラムを活用して看護実践能力を養います。

2 グローバルに対応できる視点と感性を養う

4年間にわたり「看護に生かす医療英語」を学ぶほか、グローバルな視野と感性を養い、看護職者の役割を学修。将来、開発途上国や医療先進国での保健・医療活動など、国際的に活躍するための基礎を身につけます。

3 ICTを活用した教育を実施

デジタル教科書やICT教育支援システムを導入し、学生と教員間の双方向型授業を行うことで、在学中からICTツールに精通し、医療のICT化に対応できる力を養います。



W5棟



看護学部の新たな学び舎「W5棟」 最新の施設・設備で看護実践力を育成。

看護学部の開設にあわせて新設した5階建ての校舎「W5棟」。コンセプトは～学びの森～。

講義、演習、実習、研究など、看護学を学ぶための最適な環境が整っています。

W1棟、W2棟の木調の質感を踏襲することで、キャンパス全体と医療系学部の調和を図っています。

W5

1F/2F



2F エントランスホール



1F 演習室



2F 中講義室

Students Voice

私たち、1期生です！

この春入学した看護学部の学生に
一言インタビュー。
講義や実習の感想や大学生活の様子、
将来の夢や目標などを
ざっくばらんに語ってもらいました。

看護師になる！と決めたのは、
中2の時に目の前で起こった交通
事故がきっかけ。救急車が来る前に
ドクターカーが通りかかり、医師と
看護師がテキパキと応急手当てをして
いる姿を見て、すごくなって。夢は、
大きな病院の救急救命で
看護師として働くこと。



永田 絢女
NAGATA Ayame

中西 晶子
NAKANISHI Akiko



「人のためになる仕事がしたい」
「人の幸せが自分の幸せ」と思って
いた私にとって、看護師という仕事は
やりがいもあり、資格も取れるので、
ベストな選択だったと思います。
コミュニケーションスキルを
磨いて、患者さんの心のケアが
できる看護師になりたいです。



3F 基礎看護学実習室 30のベッドと最新の視聴覚設備を備えた実習室。ここではヘルスアセスメント、日常生活援助など、基礎的な看護技術を学修します。



3F 成人看護学実習室 成人期にあたる患者さんのライフサイクルや健康状態レベルに合わせて必要な看護技術を学修します。



3F 小児・母性看護学実習室 妊娠中から出産、産後の女性や子どもの発達段階にあわせた看護技術を学修します。



3F 4床病室 実際に医療現場で使用されている機器を導入した4床病室。病院さながらの環境で実践的な学修ができます。



3F ICU (シミュレーションルーム) ICU用ベッド、人工呼吸器、モニターなど、実際に医療現場で使用されている機器を導入したICU(集中治療室)でクリティカルケアを学修します。



3F 精神・高齢者・在宅看護学実習室

和室やトイレ、浴室など、居宅を模した実習室。訪問看護の基本的な技術や在宅療養者、高齢者への日常生活援助など、地域で生活・療養する人々への看護技術について学修します。



4F 大講義室

看護師という職業に興味を持ったのは、看護師である母の影響が強いです。講義や課題、演習などで毎日大変ですが、どの授業も将来の仕事につながっていると思うと、ひとつとして手が抜けません。全力で取り組み、知識・技術を自分のものにしていきたいです。

中西 日向子
NAKANISHI Hinako

築山 梨乃
TSUKIYAMA Rino

金城は総合大学なので、他学部の学生と授業が受けられるし、語学を学ぶ環境も充実。先生方のサポートも手厚いので、学ぶ環境としては最高です。4年間の学びで看護力はもちろん、人間としても成長し、患者さんに安心感を与える看護師になりたいです。

小5から中3まで、父の仕事の関係でアメリカに住んでいました。風邪などで病院に行くと、看護師さんがいつも笑顔で優しく接してくれ、いつしか私も看護師を志していました。いずれは海外の看護師資格を取り、海外の医療機関で働きたいと思っています。

名和 優那
NAWA Yuna

学部で学んだ知識と技術をさらに深め 薬学の未来を切り拓こう。



薬学部・薬学研究科教授
安東 嗣修

薬学部教授・薬学研究科長
篠原 康郎

薬学部・薬学研究科教授
福石 信之

金城学院大学に薬学部薬学科が設置されたのは2005年。翌2006年には臨床を重視した6年制薬学教育を導入。以来、薬物治療の高度な専門性と、医療現場で必要な問題解決力を備えた女性薬剤師を数多く輩出してきました。そして2022年4月、6年間の学部教育を基盤とする4年制の大学院薬学研究科を開設。学部から大学院までの一貫した教育・研究体制が整いました。そこで大学院の設置に尽力した3人の先生に、大学院教育への思いや今後の抱負を語っていただきました。

一待望の研究科が開設され、学びのステージが広がりました。

篠原 大学は「研究」と「教育」が両輪にあり、大学院は研究を進める上での大きな推進力となります。薬学部の学生の中には上に進みたいという学生も毎年何人かはいて、他大学の大学院に進学したという経緯もあり、本学の大学院設置が待たれていました。研究科ができたことで、薬学の教育・研究活動により拍車がかかると思います。

安東 大学に入る前から「研究をやりたい」という学生がいます。しかし、本学の薬学部を選んで入学してきても、大学院がないために進路の選択肢が病院か薬局の薬剤師という2択に絞られていました。大学院の設置は、研究の道に進みたいと思っている学生に光を与えたと思います。

福石 ただ、今はやっと箱ができたという段階で、これから学生が優れた研究者として育っていくために、いかに豊かで魅力ある学びの場をつくっていくか。それが今の率直な思いです。

篠原 私も全く同じ思いです。ハードはできたので、ソフト、コンテンツを増やしていくことが極めて大事。気を緩めることなく、引き続き教育・研究体制の充実を図っていきたいと思っています。

一薬学研究科ではどんなことに力を入れていきたいと考えていますか。

安東 自分が携わっている研究が果たしてみんなの役に立つのか、立たないのか、研究と臨床のはざまを埋め、臨床につなげていく橋

渡しをすること。ただ面白そうだからとか、自分よがりの研究ではなく、常に臨床を意識した教育・研究を推し進めていくことが我々の使命だと思っています。

福石 僕は明確に創薬を念頭に置きたいと思っています。創薬というのは非常に困難な道なのですが、例えば一生のうちに医師や看護師さんが助けられるのは目の前にいる患者さんだけです。でも、今までにない、素晴らしいお薬をひとつ創れば、一挙に10万人、100万人、ひょっとしたら何千万人という人々を救うことができます。ただその一方で、日本では創薬研究を目指す人が少なくなっているのも事実です。資源がない日本だからこそ、そういう知的な財産をつくり、発信していけるような人材を大学院から輩出しなければいけないと考えています。

篠原 今、薬学を取り巻く環境が大きく変化する真只中にあります。創薬研究ひとつとっても、スクリーニング創薬からゲノム創薬へと推移し、抗体医薬を代表とするタンパク質医薬の台頭、さらに近年では核酸医薬、細胞治療、再生医療の研究開発も加速度的に拡大しています。コロナのワクチンにしても今まで実用化されたことがなかったものがいきなり実用化されるなど、創薬研究にはこれまでに類を見ないほど幅広く、かつ高度な専門知識が求められるようになってきました。こうした技術革新に対応し、追いついて、追いつくどころか、さらに新しいものをつくっていけるような人材を育成して、社会の要請に応えていく。それが私たちの務めだと思っています。

博士号を取得することで 進路の選択肢、活躍の場は多様に広がる。

—大学院を修了した学生は、どんな道に進んでいくのでしょうか。

篠原 大学院修了後の道は多様にあります。当研究科では基礎系から臨床系の分野まで、いろんなテーマを選べるようになってきました。そこで何を磨いたかによってある程度決まってくると思いますが、例えば臨床系のテーマを研究した人なら、医療機関で高度な専門性を発揮できる薬剤師に、基礎を中心に勉強してきた人は、創薬に進んでいく道が拓けてきます。さらに薬学部のある大学で後進を育てる教育者という道も選択肢の中に入ってきます。大学の教授になるために必要なのは博士号で、これは国際的なライセンスでもあって、海外の研究者とも対等に話することができます。アカデミアであれ、医療の現場であれ、教育の場であれ、将来の選択肢は多様に広がっています。

安東 アカデミアの世界でいえば、今、女性研究者がすごく必要とされています。いろんな大学の教授募集を見ても、女性が欲しいという大学が多いんです。特に本学の院生は薬剤師の免許がある上で博士号を取るわけです。そういう人材はまだ少数なので、教育の場でも必要とされる人材です。これからしっかりサポートして、大学院を修了した女性がいろんな大学で活躍するという道をつくっていきたいと思います。

福石 アカデミアもそうですが、クリエイティブな世界では、「破壊」と「創造」が大事だと僕は思っています。例えば男性だけで固まっているような村社会があったとして、そういうところは女性にどんどん入っていただいて、良いところはもちろん残せばいいのですが、

悪いところは破壊して、女性の目線でどんどん新しい風を入れていく。大学もそうですが、新しい風を入れて多様化していかないと組織として活性化していかないし、学問的にも活性化していきません。そういう意味でも、優秀な女性研究者をどんどん世の中に送り込んでいきたいですね。

「薬学を学ぼう」という初心を 6年間ピュアに持ち続け、 そのまま大学院に進んでほしい。

—大学院進学を考えている方にメッセージをお願いします。

福石 大学院ができたことで、自分の未来へのカードがひとつ増えました。「薬学を学ぼう」と思って大学に入ってきたときの初心をピュアに6年生まで持ち続け、そのまま大学院に入っていたけると嬉しいですね。私たちも、皆さんの研究活動を全力で応援します。

安東 大学院では、学部では学べない物事の考え方、課題解決に向けた調査・研究方法、結果に基づいた解釈など、多くのことを学べます。実社会では必要とされる能力ですが、身近に指導してくれる方はいません。このことを卒業後に実感して大学院に進学する方が多くいます。本大学院では基礎から臨床まで、経験豊富な先生方が多方面から指導してくれますので、一緒に頑張っていきましょう。

篠原 本学には大学院生を対象とした奨学金制度なども用意していて、経済面からのサポートもあります。また、社会人にも門戸を開いており、平日夜間や土曜日に履修できる体制を整えています。ひとたび研究室に入って研究を始めたら、私たち教授も学生も対等の立場。ともに薬学の未来を切り拓いていきましょう。



自分の手で、
新しい化学反応をつくる。
それが有機化学合成の
醍醐味です。

大学院薬学研究科1年 杉浦 雲母 SUGIURA Kirara

Master's Student

薬学研究科での学び

Voice

高校時代、歴史が好きで色々な文献を読んでいると、結核で命を失った著名人が多いことに気づきました。かつては不治の病だった結核が、今ではお薬で症状を抑えられる。その事実に興味を湧いて、薬学を学んでみたいと思うようになりました。

学部を卒業し、いったんは薬剤師として社会に出たのですが、他の道も探ってみたいという思いもあって大学院博士課程に入学。現在は「ロジウム媒体によるサリチルアルデヒドとエンイン化合物の分子間ヒドロアシル化反応の検討」というテーマで、種々のエンイン化合物を用いて反応を検討し、実用化レベルにまでもっていくことを目指して研究をしています。医薬品の多くは炭素原子から構成される有機化合物で、その多くが人工的に合成されています。研究に着手してまだ日が浅く、思うような結果は出ていませんが、根気よく実験を積み重ね、いずれは医薬品を作るときのプロセスにも大きなインパクトとイノベーションを与える

ような、新たな化学反応の開発をしたいと思っています。研究は地道な作業で大変でしょ、とよく言われますが、私はコツコツと手を動かすことが好きで、むしろ毎日ワクワクしながら、実験を繰り返しています。

院生として研究に没頭する傍ら、現在は助教として学部2年生の化学の実験のお手伝い、加えて週に2日、大学近くの医院の門前薬局で薬剤師の仕事も続けています。日々進化する臨床現場での薬物治療の実際や、MRさんから最新の医薬品情報が入手できるので、研究も、助教も、薬剤師もすべてつながり、プラスに働いています。

卒業後の進路はまだ決めていませんが、大学院で学び博士号を手にすることで、選択肢が広がるだろうと思っています。その日を楽しみに、今はひたすら研究に打ち込み、結果を出したいと思っています。

免疫疾患の発症メカニズムを解明し

新たな治療薬の開発につなげる

いま日本人の2人に1人が罹患しているとされる免疫アレルギー疾患。

その病態はまだ十分に解明されたとは言えず、

根本的な治療法も確立されていないというのが現状です。

「だから、新しい治療薬が必要なんです」と、水谷暢明先生。

研究の成果を明日の医療につなげるため、今できることを着実に。

これまでも、これから、変わらぬ姿勢で研究を続けています。



動物を使って病態を解明し、治療薬の開発へ。

私が薬学の道に入ったのは、亡くなった祖父の影響が大きいです。重度の喘息病患者でしたがとても研究熱心な人で、自分の病気をなんとか良くしたいと、医学書を読んだり、こんな生薬がいいよと聞くとそれを自分で育てたり。そんな姿をいつも間近に見ていたの、いつしか私も研究者を志すようになりました。

薬学は幅が広く、化学、生物、薬の合成など、様々な領域があります。私自身は動物に興味があり、動物を病気にして、いろんな新規の薬を与えたり、体の中でどういう風に病気が起こっていくのかなどを解明することで、新規治療薬や治療法の開発につなげていきます。そのひとつがアレルギー疾患(喘息、花粉症、アトピー性皮膚炎など)および自己免疫疾患(多発性硬化症、リウマチなど)で、私はずっとこのテーマで研究を続けています。例えばこれは私のゼミで行っている研究ですが、ダニ抗原をマウスの耳に塗布すると、パッと腫れてきます。その厚みを測ったり、皮膚炎の状態を確認した上で、片方のマウスには薬を飲ませ、もう片方には飲ませない。薬によって症状が抑制されたのなら、どうして効いたのかというようなテーマで、学生が中心になって研究しています。

失敗を楽しもう。そこから新しい道が拓けてくる。

薬学研究の面白さは、当然効くだろうと思って研究を始めたのに、悪化し始め、えっというような衝撃的な失敗に遭遇すること。研究を始めた頃は、知らないこと、分からないことだらけだから、乾いたスポンジが水を吸うように、どんどん知識を吸収して、驚きの連続、喜びの連続で進んできました。でも自身の知識がだんだん増え、学生を指導し始める頃には、当然こうなるだろうなという感覚が多くなってきました。でもその中で、突如として、えっ、失敗したの?というワクワクが出た時の感動。25年の研究生活でそんな瞬間に出会ったのはほんの数回ですが、いまもって忘れられません。だから学生にも言うのですが、もし挑戦の結果が失敗だったとしても心配は無用。それよりもその原因をきちんと分析し、次に活かすことが大事だ、と。そうすると、また新しい道がパッと拓けるんです。

ひとりの人間として、人生の先輩として 学生一人ひとりにどう「寄り添う」か。

本薬学科の学びの特長は「スパイラル型問題解決学習プログラム」



水谷 暢明 教授

MIZUTANI Nobuaki

金城学院大学 薬学部
薬学科 教授

2000年、京都薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了。博士(薬学)。その後大日本インキ化学工業研究員、神戸薬科大学講師、同大専任准教授等を経て、2017年4月金城学院大学薬学部/薬学科教授。

専門分野: 薬学、生物科学、基礎医学
所属学会: 日本薬学会 日本薬理学会
日本アレルギー学会
日本免疫学会
日本薬理学会評議員
日本薬学教育学会他

です。様々な教育手法のグループ学習を1~6年までスパイラル型に導入し、医療現場で通用する問題解決力を養うというもので、私は4年生の「薬学CBL」を担当。実際の症例を題材にしたシナリオを使い、問題解決に取り組むことで、5年次の薬局・病院での実務実習につなげていきます。全ての学習が学生が能動的に動かないことには何も始まらない。それがこのプログラムの大きなポイントです。4年前から薬剤師の国家試験対策委員長も務めていますが、あくまでも主役は学生で、みんな本当に頑張って結果を出しています。私の役割は、学生が堂々巡りになっている時にちょっとしたスパイスを与えること。例えば、問題ばかりに向き合っている学生がいれば「時間がかかってもいいから、知識を整理し、まとめて、人に説明してみよう。得意科目でそれができたら他の科目も引っ張られるように説明できるようになり、理解が深まるよ」と。頑張りすぎる学生には「セーブすることも仕事だよ」と言ってあげます。

私は5年前に本学に赴任したのですが、その時にひとつだけ、自分の目標として大事に持ち続けようと思った言葉があります。「寄り添う」。先生という感覚ではなく、対人間という思いで学生と接する。毎年4月になるとこの言葉を思い出し、1年のスタートを切ります。これからもそうあり続けたいと思っています。

Q. 水谷暢明先生ってどんな人?

「とにかく優しい先生です!」。開口一番、5人全員からかえってきたのがこの答え。学生一人ひとりをすごく大切にしてくれる。決して否定せず、ありのままの自分を受け入れてくれる。なかには、3年生の時からずっと先生の指導を受けているが一度も怒られたことがない、という学生も。水谷先生の温かい人柄、そして学生からの信頼がとても厚いことが伝わってきます。授業も、言葉や文字だけでなく、必ず図も入れて、面白く、わかりやすく教えてくれるので、迷わず水谷研究室の扉を叩いたそうです。

最後に、水谷先生への注文は?と聞くと、「娘さんに一度会わせてください!」。コロナが早く落ち着いて、そんな時間ができるといいですね。



「水谷暢明研究室」の6年生の皆さんと。前列左から小島千空さん、水谷先生、廣瀬佳保さん、寺倉亜実莉さん、後列左から白木愛梨さん、三浦明日香さん。

教えて先生!

My Favorite



コーヒー豆をガリガリするところから1日が始まります。



時にはサイフォンで淹れることも。



ベランダで育てているコーヒーの木。5月には白い花が咲きました。

～水谷暢明先生の珈琲物語～

豆をガリガリ挽いてコーヒーを淹れる。それが朝の恒例行事です。小学校1年生の娘にはカフェオレを淹れてあげます。実は昔はコーヒーが全然飲めなかったんです。私の恩師が大のコーヒー好きで、ときどき淹れてくれたのですが、いつも無理をして飲んでいました。その恩師が肺がんで亡くなってしばらくした時、ふと先生を思い出し、豆を買って自分で挽いて淹れてみたら、ものすごく美味しくてびっくり。3年ほど前のことですが、以来、とてつもなくハマってしまい、今では焙煎も自分で。焙煎を始めたら今度はコーヒーの木が欲しくなって育てています。いつの日か、自分で収穫した豆を焙煎し、自分だけのコーヒーを楽しみたい。それが目下の夢です。

金城学院で活躍する
先生をピックアップ

Kinjo Spirit

金城スピリット

「金管バンドの真髄は迫力あるサウンドと豊かな響き」と、鈴木朋宏先生。中学1年生で生涯の友となるトランペットと出会い、大学時代は当時日本では珍しかった英国式ブラスバンドで活躍。音楽教師となった今は、培った技術や経験を惜しみなく注いで生徒たちの指導にあたっています。その原動力は音楽へのやまない情熱、そして、生徒たちと音楽の楽しさを共有したいという思いです。



楽器の音色を重ね合い、ひとつの響きにしていく。

小学生の頃は野球とサッカーに夢中で、中学では野球部に入るつもりでした。ところが、中学入学時の担任が音楽の先生で、吹奏楽部の顧問。私が体格がいいからという理由で吹奏楽部への入部を勧められ、入部しました。そこでトランペットにのめり込み、高校ではオーケストラ部に所属。進学した玉川大学では、音楽専攻生で構成されるブリティッシュスタイルの金管バンドに入って、楽器(金管バンドではホルネットを担当)の腕を磨きました。当時、英国式ブラスバンドは玉川大学にしかなく、どうしてもそこで演奏したかったんです。指導して下さる先生は、英国式金管バンドを日本に普及させた功労者で、英国協会からも表彰を受けたという有名な先生。演奏もかなり本格的でした。年に数回演奏会があり、いつも金管楽器とともにある生活でした。音楽教師になってからも、教会などで奉仕演奏として、トランペットを吹いていました。50代後半になった今は、同年代の管楽器奏者と月2~3度集まって金管五重奏を楽しんでいます。一つひとつ違う楽器の音色が重なり合い、そこから生まれる美しい響きがアンサンブルの醍醐味。一度味わうとやめられません。

音楽の喜び、楽しさを感じてほしい。

本校で音楽教師を務めて33年。もともと人に教えるのが好きでこの道を選んだのですが、生徒の中には歌うことが嫌い、楽器を演奏することが嫌いという子が何人かいます。そういう子たちに少しでも音楽を楽しんでもらい、興味をもってもらうのが音楽教師の務め。教師側からの一方的な授業をするのではなく、ひとりでも多くの生徒を授業に巻き込む参加型の授業を行うことで、音楽室に来るのが楽しみと感じてもらえれば嬉しいと思っています。音楽で心が癒やされたり、元気ももらったり。どんな時代にあっても、音楽は生きていく上で大切なものだし、豊かな感受性や情緒を育んでくれます。苦手だった楽器演奏がようやくできるようになったり、時間をかけて説明し「あ、わかった!」と目を輝かせてくれたり。その喜びを生徒たちと共有できる時が教師としてのやりがいを感じる瞬間です。

コロナ禍であらためて感じた大きな力。

中高合同の管弦楽部の顧問とメサイア演奏会の指導も長年に

気がついたら、いつも音楽がある人生に。

トランペットの魅力にはまり、



鈴木 朋宏 教諭

SUZUKI Tomohiro

金城学院中学校
担当教科 音楽

1983年 玉川大学現芸術学部音楽学科卒業

1987年 同大学芸術専攻科修了
(トランペット専攻)

専攻科修了後アメリカに渡り、
ロサンゼルス国際学園で音楽教師を務める

1989年 金城学院中学校に
音楽教師として赴任

金城学院中高合同の管弦楽部の顧問、
金城学院メサイア演奏会の指導も務める

わたくしは務めています。ただ、この2~3年はコロナ禍で音楽活動は様々に制限されました。授業では歌うことができなかったので、歌曲を指揮したり、音符のリズム打ちをするなど、あれこれ工夫して授業を行いました。管弦楽部は特に管楽器に対する規制が厳しく、ほとんど活動ができませんでした。規制が緩和された今は木管と金管に分けて人数を減らし、換気・距離・消毒を徹底して活動を再開しています。

一方、メサイア演奏会は毎年11月23日に開催する本校の伝統行事。本来なら一昨年が70周年でしたが、やむなく中止。昨年(2021年)の演奏会を70周年の記念公演としました。オーケストラも合唱も、そして観客も人数をかなり絞っての公演になりましたが、初の試みとしてライブでも配信。多くの方に聴いていただき、喜んでいただきました。厳しい状況の中でも大きな導きと支えがあったことを実感しました。

定期演奏会、メサイア演奏会、施設への慰問演奏会など、まだまだ思うようにできない日が続いています。通常の活動が再開できる日を待つと同時に、与えられた困難の時を大切に過ごしていきたいと思えます。

教えて先生!

My Favorite



趣味は、気の合う仲間と金管アンサンブルを楽しんだり、音楽会へ出かけたりすること。もともと体を動かすことが好きなので、休日は愛犬と一緒にジョギングやウォーキングを楽しみます。愛犬(イタリアングレーハウンドの雄)は生まれてすぐに我が家にやってきて、今3歳。足がすごく速いので、いい運動になります。名前はリトラ。毎日の生活はもっぱらリトラ中心に回っています。

鈴木先生の活動アルバムより



2021年11月23日、愛知県芸術劇場コンサートホールにて開催された「第70回金城学院メサイア演奏会」。中高の管弦楽部とグリークラブ、教職員による男声合唱、プロの指揮者、ソリストとつくるステージは、新たな感動をもたらしてくれました。

舞台上で指示を出す鈴木先生。



開演前の打ち合わせ。



管弦楽部の練習風景。



歳を重ねても、障がいがあってもおしゃれを楽しんでほしい。

腕が上がらなくて、おしゃれな服が着られない……。車いす利用者もかっよくジーンズを履きたい……。高齢や障がいで衣服の着脱が困難になった人たちのこうした思いに応え、衣服の提案や製作・リフォームを行っているのが、金城学院ファッション工房。相談会やファッションショー、講演会など、さまざまな活動を通して障がいのある方の衣服支援を続けています。そこで、工房の代表を務める平林由果先生と、学生メンバーの高須衣玖さん、角田萌々子さんに話を聞きました。

おしゃれには人を元気にする力がある

金城学院ファッション工房のきっかけは、2004年、学生が「障がい者の衣服支援」を卒論のテーマにしたこと。それを機に2006年、2007年と続けて障がい者をモデルにしたファッションショーを担当し、モデルたちがドレスを着て目を輝かせたり、気持ちが前向きになるのを見て、衣服の力を実感。同時に衣服支援の必要性も感じ、2009年、学内に工房を開設しました。現在は卒業生が中心となって縫製を担当。環境デザイン学科などの学生も参加して、衣服の製作やリフォームを請け負っています。重視するのは、無理なく着脱できる、動きやすく着心地がよい。優れたデザイン性も大切な要素です。障がいの程度は一人ひとり違うので、まずは利用者と話し合った上で製作に着手。創意工夫をしながら製作、試着、修正の繰り返しで、完成までにはかなりの時間を要します。「それができるのも、スタッフのボランティア精神に支えられているから。私ひとりでは何もできません」と平林先生は言います。

障がい児のためのユニフォームを製作

コロナ禍でほとんど活動ができなかった2020年秋、ある医療法人から、医療型短期入所施設に入所する子ども(0～6歳)のユニフォームのデザイン・製作を依頼されました。重度の心身障がい児や医療的ケアを必要とする子どもなので、要望も「胃ろうや気管切開の処置のしやすい構造で、スポーティーでおしゃれなデザイン」という難易度の高いもの。学生メンバーが中心となって製作を始め、何度も試作を繰り返して、ようやくTシャツとパンツ、ロンパースが完成しました。時節柄、医療法人やメンバー同士のやりとりは全てオンラインで。「デザインはもちろん、布選びからボタンの位置や大きさまで、試行錯誤



写真左から、角田萌々子さん(環境デザイン学科4年) 平林 由果先生(生活環境学部 環境デザイン学科 教授) 高須衣玖さん(人間生活学研究所 消費者科学専攻 大学院2年) 角田さんと高須さんが付けている可愛いエプロンはファッション工房のオリジナル。上肢の動きが制限された人でも簡単に着脱できます。

の連続。それだけに達成感も大きかった」と、高須さん。角田さんも、「幸い12月のクリスマス会に間に合うようにお届けすることができ、子どもたちも喜んでくれたとのこと。それを聞いて本当に嬉しかったです」と言います。

「みんなで一緒に服を着たい！」に応じて完成したユニフォーム。前開きで着脱しやすく、脇に縫い目がないので着心地も抜群。この活動は優れた課外活動に対して贈られる「学生部長賞」を受賞しました。



Fashion for allをめざして、これからも

コロナが少し落ち着きを見せ、控えていた活動も徐々に再開されるようになった今、学生代表を務める角田さんは言います。「今の1～2年生はほとんど活動ができなかったのが実情。相談会やファッションショーなどのチャンスがあればぜひ参加して、いろんなことを経験してほしい」。モノづくりが楽しくて、院生になった今も工房の活動に参加する高須さんも、「大学の学びだけでは、障がい者や高齢者、子どもの服づくりは経験できず、学ぶことが多かった。何より人のために服をつくるという喜びが大きかった」と振り返ります。「何歳になっても障がいがあっても、おしゃれをしたいという心は変わりません。この工房が、誰もが気軽に遊びに来て相談できるサロンになれば嬉しい」と、平林先生。Fashion for all(すべての人がファッションを楽しめる)の実現をめざして、工房のおしゃれ支援はこれからも続きます。



2019年度金城祭のファッションショー後の集合写真。モデルさんと学生たちの笑顔が素敵です。



「自分で織った布をあしらったドレスがほしい」という要望に応えて製作したドレス。メイクも学生が行います。



『愛され、育ちあう。』をモットーに 歩み続けて50年、そして未来へ。

今年、幼稚園は創立50周年を迎えました。時代が様々に変わりゆくなかでも、スクールモットー『愛され、育ちあう。』は変わらずに保育が行われてきました。

年度当初、年少の子どもたちとどう関わろうか、と迷っている様子を見せた年長・年中の子どもたちも、1ヶ月近くが過ぎる頃には積極的に話しかけ、時には気遣う姿も見られます。「タオルかけられないの？ やってあげる」と困っている姿に気づくこともあれば、制作遊びのために置いてある素材や道具の使い方を教えていることもあります。また年上児の遊びに興味を持って加わった年少の子どもたちに「壊さないようにね、気をつけてよ」とヒヤヒヤしながら遊んでいることも。只一つ大きくなったことを喜んでいたり子どもたちが、年下の子どもたちと出会い、関わり合うなかで慕われ、頼られ、時には我慢することも経験しています。年少の子どもたちはというと、年長・年中の子どもたちが、かつて経験したように守られる安心感を得て、愛される喜びを感じています。こうした互いに関わり合って育つ子どもたち一人ひとりの姿から、どのような共感体験を通して関係を築き、つながり合っていくのか、これからが楽しみになります。

こんな時代だからこそ つながって～今、わたしを生きる

同時に、保護者の『父母の会』や有志による会の活動も始まりました。コロナ禍で今までと同じ形では行えないこともありますが、今までの経験をもとに楽しくつながり合える『父母の会』を創っていこうと委員の方々がアイデアを出し合い、発信してくださっています。

この何年か、一人ひとりがつながりにくい環境にあり、子育てに孤独を感じた時もあったと想像します。一人ひとりが抱える子育て不安は違いますが、互いに理解し、支え合える存在はどれほど励みになるでしょう。

私たちの幼稚園が加盟しているキリスト教保育連盟では毎年、年主題が出されます。この年主題は目標とするものではなく、キリスト教保育をする一人ひとりに力と導きをいただくものとして、神様から与えられたものと考えられています。その年主題が、今年度は『つながって～今、わたしを生きる』です。様々な理由で関わりが持ちにくいこの時代、人と人とのつながりの大切さをひしひしと感じます。また幼少期に愛される経験を重ねることで育つ心の豊かさが、一人ひとりのこれからの生きる力になっていくと。

子どもたちとも、保護者とも丁寧に向き合い、祈りの中で豊かな『つながり』を個々に築いていく1年でありますように。『愛され育ちあう。』を心にとめて、保育にあたっていきたくと思います。



年齢の違う子どもたちと関わり合うなかで、少しずつ、子どもたちの信頼関係が育まれていきます。



50th
Anniversary
愛され、
育ちあう。



ふーん…
ほらね、こうやると
きれいにおれるよ。



じょうずに
おかたづけ、
できたね。

2021年度WWL生徒研究発表会で 本校生徒が課題研究を発表しました。

さる3月6日(日)、名古屋大学野依記念学術交流館にて、名古屋大学教育学部附属中・高等学校 コンソーシアムTOKAI主催による「2021年度WWL生徒研究発表会」が開催されました。この日はWWL事業拠点校である名古屋大学教育学部附属高等学校はじめ東海3県の事業連携校6校の生徒が集い、日頃の探究活動の成果を発表。本校からは2名の生徒が参加し、課題研究のポスター発表を行いました。高校と大学が連携し、生徒たちの課題研究を支援し評価することで、それぞれの研究を進展させることができたことはもとより、他校の生徒の研究発表を聞いたり、意見交換をする中で、新しい知見や研究手法を学び取ることができるなど、大きな収穫を得た発表会となりました。

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)とは、2019年度から始まった文部科学省の取り組みで、将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成する事業のこと。



貴重な機会を今後の探究活動に活かしたい

参加者の声

発表タイトル「ナスの褐変についての考察」

「ナスの褐変」について研究しようと思ったのは、ナスの漬物を食べたとき、ナスの実に変色が生じていることに気づき、また、その変色具合にも特徴があるように感じ、調べてみようと思ったことがきっかけです。

発表の準備では、考察を深める過程が楽しく、時には夢中になることもありました。先生方には発表の論理展開や観察結果の評価の仕方、ポスター発表での情報のまとめ方など、懇切丁寧なアドバイスを頂きました。私ひとりでは気づくことのできなかった点もたくさんあり、とても感謝しています。

発表会当日は、会場の雰囲気も温かさも手伝ってリラックスでき、発表や意見交換を楽しむことができました。審査員の先生方からは研究や発表についての指摘やアドバイスもたくさん頂き、今後活かしていきたいと考えています。特に考察の内容についてのアドバイスは印象深く、私にとっては新しい視点でした。また、欲しいデータなどを得るためには実験等を上手に組み立てることが大事なのですが、その難しさも感じ、もっと力を磨いていきたい、意欲が湧いてきました。他校の生徒の発表では、実験方法などに工夫のある研究や難しいテーマを考察している研究、社会問題と向き合っている研究など、たくさんの素敵な研究があり、大変魅力的でした。

振り返れば、WWLの研究発表では、研究の方法やまとめ方など自分の改善点も含め、本当にたくさんのお話を学ばせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも意欲的に様々なことを学び、いろんなことに挑戦していきたいと思っています。

現3年 小林 万莉



発表タイトル 「情報の与え方による ワクチン接種意欲の変化」

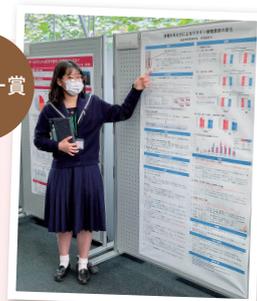
ポスター賞 受賞

「子宮頸がんワクチンの積極的勧奨中止の背景に、情報の伝え方が大きな影響を与えた」ということを知り、「与えられる情報によってワクチンの接種意欲がどのように影響されるのか」という疑問を持ったことがこの研究に取り組んだきっかけです。

発表の準備では、アンケートの回答を分析する際に、仮説通りであった部分だけでなく、そうでなかった部分からも考察し、新たな発見をする過程が一番楽しかったです。アンケートの質問内容の設定や考察の仕方などには苦労しましたが、複数の先生方からアドバイスを頂き、発表することができました。

本番では、審査員の先生方からのコメントや質問がとても興味深く、自分が調べてきたことを客観的な視点で見つめ直すこともできました。今回の発表をどのように応用するかという点でもアドバイスを頂いたため、それらを基にさらに深く考察していきたいと考えています。他校の発表では、身近な疑問から研究を進めている人からハイレベルな研究まで幅広いテーマの発表を聞くことができ、多くの刺激を受けました。特別な機械や器具がなくても身近にあるものを活用し、結果を出しているグループも印象に残りました。今回の研究発表を通して、どのような結果に対しても、その考察がとても重要であること、また、その過程で論理性を持つことの大切さも学びました。他校の生徒の発表を聞くことで、複数の文献を引用するべきだったという課題も見えてきました。今後は研究をさらに深めるとともに類似研究も調べ、卒業小論文の作成に向けて取り組みたいと思っています。

現3年 早稲田 彩乃



2021年度卒業生進路状況

今年度の金城学院大学への進学者数は、高大接続型推薦者155名に一般推薦・受験での進学者27名を加えて計182名(卒業生全体の55%)でした。高大接続型推薦では多くの生徒が第一希望の学科に進学することができました。また、「協定校推薦制度」を利用し、

関西学院大学へ7名、同志社女子大学へ5名の生徒が進学をしていきました。

外部受験では国公立大学合格者が名古屋大学1名、岐阜大学1名、三重大学1名、名古屋市立大学(薬学部)3名など合計8名となりました。私立大学へも、早稲田大学1名、慶應義塾大学3名、上智大学



Advanced English Seminarで 英語力をもっと伸ばそう。

金城学院中学校では、2021年4月より「Advanced English Seminar」の授業がスタートしました。本校が2021年度より英語利用入試(帰国子女もしくは英検準2級以上相当の資格所有者などが対象)を導入したことで、生徒たちが身につけた英語力を維持させ、さらに伸ばしていくことを目的に開設。週に1回、放課後を使い、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業を行っています。

Advanced English Seminarでは、習熟度別に2つのクラスを設けています。そのひとつ、オークイン先生のクラスでは、まず最初に教材のビデオを見せ、それをテーマに先生が生徒に質問したり、グループで話し合ったり、レポートを書いたり。生徒が書いた文章は文法やスペルのチェックをし、添削した上で翌週に返却。英語で「話す」「書く」といったアウトプット力を鍛える授業を中心に行っています。一方、ネイティブレベルの生徒もいるパウカー先生のクラスでは、身近な話題から社会問題まで様々なテーマを設け、グループで議論したり、自分の考えを書いて発表したり。時にはグループ同士によるディベートを行って、英語で考え、議論する力を育てていきます。たとえばある日のテーマは「都市の生活と田舎の生活のどちらがいいか」、またある日のテーマは「少しの食物とナイフで、



グループに分かれて話し合うパウカー先生の授業の様子。

無人島でいかにサバイバルするか」。テーマを巡って、生徒たちは熱い闘いを繰り広げます。

授業で心がけていることは、「正しい発音や文法を教えることはもちろん大事ですが、それよりも言語の背景にある文化や考え方、価値観を受け入れ、理解した上で表現する力を育てたい(パウカー先生)」。オークイン先生は、「せっかくだがあるのに、シャイでなかなか発言しない生徒が多い。そんな生徒には、間違ってもいいから、まずは話すことで自信を持たせること。生徒たちの中に少しずつ変化が見られ、1年後がとても楽しみ」と言います。チームで支え合い、協力しあうことで、互いの英語力をさらに伸ばしていく空気が生まれてきたことも、この授業がもたらした相乗効果。個性豊かなネイティブ教員とプログラムで、生徒たちは、英語力もチーム力も着実に身につけていきます。



写真左から
担当教員の服部契子先生、
ネイティブ教員の
BOWKER, Daniel A先生、
O' QUINN, Caitlin R先生

中学1年生で
英検1級合格!

英語を使って、どんどん自分の世界を広げたい!

私は6歳から11歳までアメリカに住み、日常的に英語を話していました。でも日本では、Advanced English Seminarだけが唯一、英語だけで思いきり話ができる時間。同年代の子たちといろんな話ができ、すごく楽しいです。中学1年生の時には英検にも挑戦。準1級、1級に合格しましたが、この授業がとても有益でした。というのも、私は面接が苦手な緊張してしまうのですが、ネイティブの先生と話をすることでそれもなく、本番では落ち着いて臨めました。受験に際しては、原書を読んだり、海外のニュースを見て、時事問題や国際情勢を学び理解することにも努めました。英検1級を手にしても、それはゴールではなく、そこから英語を使って自分の世界を広げていくこと、経験をどんどん増やしていくことが大切だと思っています。

2年 松本 知未



4名、青山学院大学5名、立教大学8名、南山大学40名、同志社大学12名などの合格者をだすことができました。また、医学部医学科の合格者は現役・浪人あわせてのべ5名でした。卒業生の今後のご活躍をお祈りしています。

(進学者数)

国公立大	私立大	金城学院大学	国公立短期大学	私立短期大学	専修・専門学校	就職	進学準備	その他 (海外留学など)	卒業生総数
8	112	182	0	2	3	0	23	0	330

収支の概要

事業活動収支計算書は、次の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容並びにすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにする計算書類です。教育活動収支は、学生・生徒・園児への教育並びに研究活動の状況を示しています。2021年度は、教育活動収入として97億3千万円、教育活動支出として109億1千万円計上しました。教育活動外収支は、教育活動以外の経常的な活動の状況を示しています。2021年度は、教育活動外収入として4千7百万円、教育活動外支出として2千9百万円計上しました。

特別収支は、教育活動及び教育活動外を除いた臨時的な活動の状況を示しています。2021年度は、大学父母会からの施設設備寄付金、教育研究用機器備品等の現物寄付、施設設備にかかる補助金等による収入として4千1百万円、資産処分差額による支出として5億2千6百万円計上しました。

また、学校法人では、必要な資産を継続的に保持するため、教育・研究のために取得した固定資産の金額を基本金として留保しなければなりません。2021年度は、基本金組入額として21億5千7百万円計上しました。

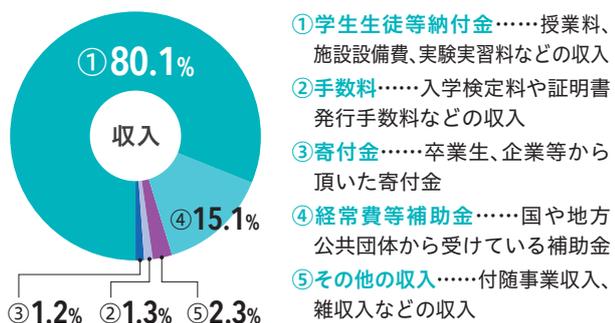
2021年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

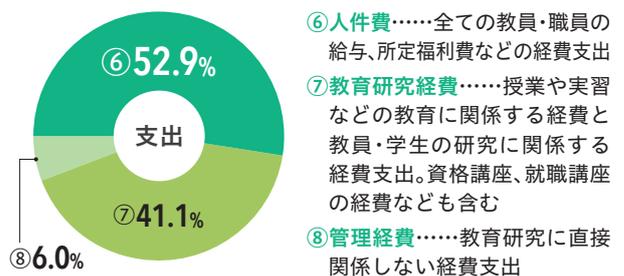
教育活動収支		
収入	学生生徒等納付金	7,788,881
	手数料	125,839
	寄付金	117,791
	経常費等補助金	1,477,377
	付随事業収入	26,537
	雑収入	193,927
	教育活動収入計	9,730,351
支出	人件費	5,772,921
	教育研究経費	4,486,100
	管理経費	650,876
	徴収不能額等	0
	教育活動支出計	10,909,897
教育活動収支差額		△ 1,179,546
教育活動外収支		
収入	受取利息・配当金	46,141
	その他の教育活動外収入	1,176
	教育活動外収入計	47,316
支出	借入金等利息	28,946
	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計		28,946
教育活動外収支差額		18,370
経常収支差額		△ 1,161,176

特別収支		
収入	資産売却差額	7,061
	その他の特別収入	33,615
	特別収入計	40,676
支出	資産処分差額	525,733
	その他の特別支出	0
特別支出計		525,733
特別収支差額		△ 485,056
基本金組入前当年度収支差額		△ 1,646,232
基本金組入額合計		△ 2,156,761
当年度収支差額		△ 3,802,994
前年度繰越収支差額		△ 13,184,746
基本金取崩額		0
翌年度繰越収支差額		△ 16,987,739
(参考)		
事業活動収入計		9,818,344
事業活動支出計		11,464,576

● グラフで見る教育活動収支



- ① 学生生徒等納付金……授業料、施設設備費、実験実習料などの収入
- ② 手数料……入学検定料や証明書発行手数料などの収入
- ③ 寄付金……卒業生、企業等から頂いた寄付金
- ④ 経常費等補助金……国や地方公共団体から受けている補助金
- ⑤ その他の収入……付随事業収入、雑収入などの収入



- ⑥ 人件費……全ての教員・職員の給与、所定福利費などの経費支出
- ⑦ 教育研究経費……授業や実習などの教育に関する経費と教員・学生の研究に関する経費支出。資格講座、就職講座の経費なども含む
- ⑧ 管理経費……教育研究に直接関係しない経費支出

金城学院の2021年度の決算について、お知らせします。学校法人では学校法人会計基準という法令に基づき計算書類(決算書)を作成しますが、ここでは、事業活動収支計算書、貸借対照表、資金収支計算書の3表によって決算概要を説明します。



資産・負債・純資産の概要

貸借対照表は、年度末における財政状態を明らかにする計算書類であり、資産・負債・純資産を示しています。

資産は、土地・建物等の有形固定資産、将来の特定の支出に備えるための資金を留保した特定資産、ソフトウェア等のその他の固定資産、現金預金等の流動資産から成っており、2021年度末466億4千万円となっています。

負債は、返済期間が1年以内に到来しない借入金等の固定負債、返済期間が1年以内に到来する借入金・前受金等の流動負債

から成っており、2021年度末94億2千1百万円となっています。なお、負債に含まれる借入金は、主に金城学院キャンパスマスタープラン「KMP21」によるキャンパスの大規模リニューアルに伴う日本私立学校振興・共済事業団からの借入金です。純資産は、外部へ返済の必要のない金城学院に完全に帰属する資産総額であり、正味財産と呼ばれています。2021年度末の正味財産は371億8千3百万円となっています。

2021年度 貸借対照表

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末
有形固定資産	34,964,738	35,398,400
特定資産	5,920,111	6,121,100
その他の固定資産	1,627,842	1,630,693
流動資産	4,091,577	5,555,635
資産の部合計	46,604,268	48,705,827

科目	本年度末	前年度末
固定負債	7,210,257	7,802,595
流動負債	2,210,965	2,073,954
負債の部合計	9,421,222	9,876,549
基本金	54,170,785	52,014,024
繰越収支差額	△ 16,987,739	△ 13,184,746
純資産の部合計	37,183,046	38,829,279
負債及び純資産の部合計	46,604,268	48,705,827



資金の動きの概要

資金収支計算書は、1年間に発生した支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにする計算書類です。2021年度は教育研究のための経費として28億9千9百万円計上し、教育研究の

充実が図られました。また、2021年度の支払資金の残高は、39億1千万円となっています。

2021年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	
学生生徒等納付金収入	7,788,881
手数料収入	125,839
寄付金収入	120,188
補助金収入	1,495,047
資産売却収入	402
付随事業・収益事業収入	27,713
受取利息・配当金収入	46,141
雑収入	193,884
借入金等収入	0
前受金収入	1,246,432
その他の収入	6,904,053
資金収入調整勘定	△ 1,262,341
前年度繰越支払資金	5,256,891
合計	21,943,129

支出の部	
人件費支出	5,720,839
教育研究経費支出	2,898,817
管理経費支出	627,194
借入金等利息支出	28,946
借入金等返済支出	644,420
小計	9,920,216
施設関係支出	1,440,250
設備関係支出	250,536
小計	1,690,785
資産運用支出	3,936,062
その他の支出	2,627,984
資金支出調整勘定	△ 141,493
翌年度繰越支払資金	3,909,574
合計	21,943,129

注：各表の数値は千円未満を四捨五入しているため、合計数値に差異を生じる可能性があります。

2023年度

金城学院 学生・生徒・ 園児募集

2023年度の学生・生徒・園児の募集につきましてご案内いたします。

入試に先立ち、オープンキャンパスや説明会なども開催^(※)いたしますので、ぜひご参加ください。また大学・大学院で学び直したい方、新たな資格や学位の取得をお考えの方、お子様の進路などにぜひご案内ください。

※下記の内容は2022年7月現在の情報となっております。変更される場合もございますので必ず各入試の「募集要項」やホームページにて最新情報をご確認ください。

2023年度入試 インフォメーション

※詳しくはホームページをご覧ください。

Point 1

年間学費が50万円になる! 「金城サポート奨学金」

2年次以降^(※)各学科^(※)での学業成績が上位40%以内であれば、継続して給付されるので安心です。返還の義務もありません。

給付対象

一般入試(前期)[2科目型][3科目型] 合格者の内、成績上位者100名
共通テスト利用入試(前期) 合格者の内、成績上位者100名
※国際情報学科はグローバルスタディーズコース
およびメディアスタディーズコースごとに判定します。

Point 2

一般入試(前期)[2科目型] [3科目型]を複数日受験すると、 「プラス1」判定!

一般入試(前期)[2科目型][3科目型]を複数日受験したうちの高得点2科目を合計し、**もう1回合格判定!**つまり2日間受験で3回判定、3日間受験した場合は、4回判定します。**検定料不要!**
※音楽芸術学科は除く。※薬学科の試験は2日間のみ実施。

Point 3

社会人の方へ 奨学金最大 20万円給付!

社会人入試(大学・大学院)、社会人編入学(大学)での入学者全員に入学金と同額を給付。

大学・大学院入試の

知っておきたい

3つの ポイント

入試種別	出願期間	入試日	合格発表日	
学校推薦型選抜 一般公募制推薦入試 ^{※1}	11月 1日(火)～11月 8日(火) 必着	11月19日(土)	12月 2日(金)	
社会人・外国人留学生・海外帰国子女入試 社会人編入学試験	11月 7日(月)～11月15日(火) 必着	12月 3日(土)	12月15日(木)	
大学 一般選抜	一般入試(前期) [2科目型][3科目型][複数日評価型] ^{※2} [英語外部試験利用型]	1月 5日(木)～1月20日(金) 17時ネット締め	2月1日(水)・2日(木)・ 3日(金) ※薬学部は、 2日(木)と3日(金)のみ実施	2月16日(木)
	共通テスト利用入試(前期) ^{※3}	1月 5日(木)～1月23日(月) 17時ネット締め	個別試験なし	2月16日(木)
	共通テストプラス方式入試 ^{※3}	1月 5日(木)～1月30日(月) 17時ネット締め	2月14日(火)	2月18日(土)
	一般入試(後期)	2月 6日(月)～2月20日(月) 17時ネット締め	3月 3日(金)	3月 7日(火)
	共通テスト利用入試(後期) ^{※3}	2月18日(土)～3月 8日(水) 17時ネット締め	個別試験なし	3月16日(木)
薬学部一般編入学試験(4年次)	2月 9日(木)～ 2月17日(金) 必着	3月 7日(火)	3月16日(木)	

※1 一般公募制推薦入試[適性検査型][小論文型]は地方試験会場を設けています。地方試験は豊橋・岐阜・四日市で実施します。 ※2 一般入試(前期)2月2日(木)・3日(金)は地方試験会場を設けています。地方試験は浜松・岐阜・四日市・金沢で実施します。 ※3 大学入学共通テストを受験していることが出願条件となります。

入試種別	出願期間	入試日	合格発表日
薬学研究科 夏期試験	6月14日(火)～ 6月21日(火) 必着	7月 2日(土)	7月 7日(木)
文学研究科・人間生活学研究科 秋期試験 在学生特別入試(前期課程Ⅱ期 ^{※4} ・後期課程) 卒業生特別入試秋期 ^{※4 5}	9月20日(火)～ 9月27日(火) 必着	10月 8日(土)	10月13日(木)
文学研究科・人間生活学研究科 春期試験・卒業生特別入試春期 ^{※4 5}	1月31日(火)～ 2月 7日(火) 必着	2月18日(土)	2月23日(木・祝)

※4 臨床心理学分野は実施しません。 ※5 文学研究科の後期課程は実施しません。

入試種別	出願期間	入試日	合格発表日
思考力入試(専願)	1月3日(火)～1月9日(月・祝) ネット出願のみ	1月14日(土)	1月17日(火)
四科入試(一般入試)		1月21日(土)	1月24日(火)
英語利用入試			
入試説明会 11月5日(土) 場所/金城学院中学校			
【お問い合わせ先】 中学校事務室 TEL:052-931-0821(代表) (受付時間:平日 8:30～16:00/土曜日 8:30～12:00)			

※各入試の出願条件につきましては、中学校ホームページをご覧ください。

幼稚園体験及び入園説明会	願書配付	願書受付
6月中頃から入園説明会と同時に幼稚園体験の予約を受け付けています。(随時受付) 【お問い合わせ先】 幼稚園事務室 TEL:052-798-0053 (受付時間14:30以降)	9月1日(木) 9:00～ 願書配付は幼稚園体験・入園説明会に参加された方を対象にしています。	10月1日(土) 9:00～ 優先入園枠があります。 詳しくは幼稚園へお問い合わせください。

※詳しくは幼稚園ホームページをご覧ください。

金城学院目的指定寄付金

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では2021年11月から2022年5月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付金ご芳名録

(敬称略・順不同)

村尾 静枝	廣澤 一郎	川井 一浩	鈴木 富美子	大見 典子	兄山 崇浩	分部 尾上
茅壁 幸子	土井 君子	中平 麻里	加藤 邦子	大橋 玲子	井上 瑞穂	奥村 健治
鈴木 達也	倉戸 美穂	浅野 隆	豊島 充佳	小林 久美子	瀧上 恵威子	清水 泰善
加藤 尚一	金海 勇	小松 友子	鈴木 宏衛	榎原 千春	岡田 保子	日本キリスト教団 中部教区
佐々木 ひかる	松田 聖士	宮内 英夫	奥泉 佳代子	木下 裕也	豊田 台	浅井 直樹
服部 三知子	三宅 暢子	大野木 英子	坂 清子	鯉江 菜々子	後藤 靖史	
中川 洋子	森川 信義	梅村 恵子	近藤 康夫			
吉田 匠	坂本 富子	川崎 澄雄	加藤 由依			
三浦 剛	植田 千春	岩本 智美	関水 恵子			
林 哲也	種田 美佳子	大澤 政子	土居 峻			
大西 哲	坂口 龍一郎	奥田 高久	稲木 三四郎			

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
ご父母	33	修学奨学金	785,000
教職員(元教職員含む)	14	本学院発展	6,572,000
卒業生	35	その他	80,000
その他	7		
総計	89	総計	7,437,000

※匿名希望及び掲載の可否を確認できない方24件
同一寄付者による複数回の寄付4件

金城学院 維持協力会

金城学院維持協力は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有力企業などにご賛同いただき、ご入会いただいております。

維持協力会ご芳名録

(敬称略)

■ 法人

愛知株式会社
株式会社アイビーネット
株式会社アイワット
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
アット・ワンス株式会社
株式会社アドマテックス
天野商事株式会社
エヌビーエス株式会社
株式会社オティックス
株式会社カミヤマ
株式会社キクタケ
教育産業株式会社
株式会社杏林堂薬局
金城学院大学生協同組合
株式会社きんでん 中部支社
グリーンシティケーブルテレビ株式会社
ココヨマーケティング株式会社
株式会社sus4
三協立山株式会社 三協アルミ社
三建設備工業株式会社 名古屋支店

株式会社三晃社
株式会社産通
サンメッセ株式会社
株式会社シーアールイー
株式会社シーオーイー
株式会社ジェイエスティ
敷島製パン株式会社
株式会社正文館書店
株式会社進研アド
株式会社新東通信
スギホールディングス株式会社
株式会社スギヤマ薬品
セクダム株式会社
株式会社瀬古写真館
瀬戸信用金庫
株式会社大学通信
大成建設株式会社 名古屋支店
大成有楽不動産株式会社 名古屋支店
大成ロテック株式会社 中部支社
ダイダグン株式会社 名古屋支店
中央電気工事株式会社

株式会社中京テレビサービス
株式会社中部キャラバン
中部電力株式会社
中部土木株式会社
中部日本放送株式会社
電子システム株式会社
東海東京証券株式会社
東海報知機株式会社
東邦ガス株式会社
トリニティー株式会社
有限会社永井抱陽写真館
株式会社中日本造園土木
エスパシオエンタープライズ株式会社
株式会社名古屋銀行
NTP名古屋トヨペット株式会社
日本管財株式会社
株式会社日本ドリコム
トヨタモビリティ東名古屋株式会社
表示灯株式会社
株式会社ファインメディカル
福玉精穀倉庫株式会社

株式会社プランナーズランド
株式会社册和商事
株式会社マイナビ
丸善雄松堂株式会社 名古屋支店
株式会社三菱地所設計
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
中部支社
株式会社名北調剤
株式会社ヤマハミュージッククリティリング
一般社団法人 ライフ予防医学センター
株式会社LIXIL
リンナイ株式会社
キョーワ薬局株式会社

■ 個人

浅井 清司 岡本 浩延
杉浦 孝洋 野田 清衛
橋本 修三 山田 隆雄
吉岡 肇 半谷 眞一郎

2022年5月末時点

2022年度
聖句標語

Scripture
Word

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

【ローマの信徒への手紙 12章15節】

今年度、金城学院大学に看護学部が新設されたことから、隣人に寄り添って生きることの大切さを学院全体で心に留めて歩みたいという願いから、ローマの信徒への手紙12章15節が、今年度の学院標語に選ばれています。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」ということは、人に寄り添うということです。「寄り添う」ということは、その相手の近くに行き、ぴったりとそばにいます。寄り添うことで、相手の気持ちを自分の気持ちとします。さらには自分の

気持ちよりも相手の気持ちを優先することになります。自分のことしか考えられない、自分さえ良ければよいと思うと、相手よりも自分を優先してしまいます。それでは、相手(隣人)の心に寄り添うことはできません。私たちはなかなか相手に寄り添うことができない者ですが、イエス様はそんな私たちにいつも寄り添い、共にいてくださいます。このことを忘れず、相手に寄り添い、共に生きる歩みをしたいと願います。 北川 美奈子 (中学校宗教主事)

みどり野会(同窓会)より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ

主は我をみどりの野にふさせ

いこいの水濱にともなひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校に集まり、いこいの時を過ごす場という意味で「みどり野会」はいつも皆さんと共にあります。

お知らせ

召天者記念礼拝 および 恩師を偲ぶ会

● 日 時：2022年10月8日(土) 10:45~11:45

● 場 所：エラ・ヒューストン記念礼拝堂

● 礼 拝：金城学院宗教総主事 小室尚子先生

2019年6月~2022年6月までになくなられた恩師と卒業生のための追悼礼拝です。どなたでもご参加いただけます。

第5回 大学ホームカミングデー

2022年10月に予定しておりましたが、中止とさせていただきます。

クリスマス礼拝

● 日 時：2022年12月3日(土)

● 場 所：中学校白百合館1階 みどり野ホール

※お申し込みが必要となります。

※詳細は秋発行『みどり野』をご覧ください。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPにてご連絡します。

お問合せ先

[みどり野会事務局]

電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)

<https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野』をご覧ください。

寄付金募集について

これまでの金城学院への様々なご支援に心より感謝申し上げます。今年度もご寄付をお受けしております。2口以上ご寄付賜りました方には本学院より心ばかりの品をお送りさせていただきます。

寄付金の使途

1. 修学奨学金 のため

2. 本学院発展 のため

2項目からお選びいただけます。

寄付に関する詳細は
寄付リーフレット
及びホームページを
ご覧ください。

<https://www.kinjo-gakuin.jp/donation/about/index.html>



金城学院

学校法人 金城学院
名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL.052-798-0180
発行者/金城学院報編集委員会
金城学院報通巻第109号
(With Dignity vol.39)
発行/2022年7月

W5棟のシンボル、「生命の木」

2022年3月に完成した新校舎「W5棟」のエントランスを入ると、美しいステインドグラスが迎えてくれます。ステインドグラス作家、立花江津子さんの作品で、金城学院みどり野会から寄贈されました。タイトルは「生命の木」。まさに看護学部の学び舎を象徴するような作品です。



with Dignity

金城女学校・第6代校長であるエラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として『You must have dignity』と話しかけたことに由来しています。『dignity』は、尊厳・品位の意。